

無石綿

NS弾ボンド

内・外装タイル用接着剤
官民共同研究品質基準(案)適合品

住宅環境対策品

JIS A 5548 タイプ I 表示認定製品・F☆☆☆☆

NS弾ボンドは変成シリコーン樹脂を主成分とした内・外装タイル用接着剤です。一液タイプのため作業効率がよく、各種下地に安定した接着力と優れた追従安定性を発揮します。

特長

- 湿式および乾式下地の内・外装タイル張りに使用できる接着剤です。
- 無溶剤、一液型弾性接着剤ですので、臭いも少なく作業性に優れています。
- 旧建設省官民共同研究「有機系接着剤による外装タイル張り」の品質基準(案)に合格し耐久性に優れています。
- フィルムパック入りですので、廃棄物が少なくなります。

標準仕様

荷姿	適用下地	適用タイル	標準使用量
18kg/箱 (2kg×9本)	コンクリート、モルタル、コンクリートブロック、 押出成形板、合板、各種乾式ボード、 無塗装サイディング、ALCパネル、 タイル、木材、成型FRP	陶器質タイル、せっ器質タイル、 磁器質タイル、ブリックタイル	3mmくし目平滑下地 1m ² 当り1.5kg
			5mmくし目平滑下地 1m ² 当り2.0kg

<施工上の留意事項>

使用できない下地	・アスファルト下地 ・常時80℃以上の高温がかかる下地
注意が必要な下地	・収縮の大きい乾式ボード下地(タイルの割れ防止のため、板間を不織布付きプチルテープで絶縁してください) ・サイディング材で表面強度の弱いものや、吸水が著しいもの(品質が確認されているものをご使用ください) ・ワックス表面FRP(サンドペーパー掛けが必要です) ・経年劣化下地(改修・補修)の場合(下地強度の調査・補修が必要です) ・ポリマーセメント系塗膜防水材(JIS A 6916 C-2に規定される下地調整塗材を厚さ約1mmで塗り付け、十分に養生をおこなってください)
確認が必要な下地	・塗装されている下地
注意が必要な仕上げ	・重いタイル、大きいタイル(事前にズレ等の作業性を確認してください) ・擬石(セメント系擬石は白華する可能性があります) ・石材(表面に染みができる場合がありますので裏面プライマー処理をおこなってください)
注意が必要な箇所	・床(落下物の衝撃によりタイルが割れるおそれがあります)
使用できない箇所	・直火が当たる場所 ・浴槽内等で常時水に浸漬している箇所

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

性能

■JIS A 5557:2006による接着試験

試験条件	引張り接着強さ(N/mm ²)	凝集破壊率(%)	品質基準*	
			接着強さ(N/mm ²)	凝集破壊率(%)
標準養生	1.3	100	0.6以上	75以上
低温硬化養生	1.4	100	0.4以上	50以上
アルカリ温水浸せき処理	0.9	100	0.4以上	50以上
凍結融解処理	1.2	100	0.4以上	50以上
熱劣化処理	1.7	100	0.4以上	50以上

注)*: JIS A 5557:2006の品質基準

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

■性状

項目	性状	
主成分	変成シリコーン樹脂	
外観	グレー、白	
粘度(Pa・s/23℃)	550	
密度(g/cm ³)	1.48	
張付け可能時間(分)	夏場	30
	冬場	90

施工法

下地の清掃

下地面の精度、浮き等のない乾燥した下地であることを確認し、表面の汚れ、型枠剥離剤、レイタンス等を除去してください。浮き等は補修し、下地を十分に硬化および乾燥させてください。

- * タイル面の仕上り精度は、下地精度により大きく影響されますので、下地の点検は入念におこなってください。
- * 下地の乾燥は夏季1週間以上、冬季2週間以上おこなってください。
- * 接着強さの低下原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。
- * 接着強さの低下原因となりますので、被着部(下地、タイル裏面等)には吸水調整材(NSハイフレックスHF-1000等)を使用しないでください。
- * 下地の乾燥度合いは手で触って湿っていない程度であれば、施工可能です。

塗付け

くし目ごてを用い、フラット部で下地に平坦に塗り付けた後、こて角度約60度でくし目をたてて塗り付けてください。くし目の方向はウラ足に対して斜め45度になるようにしてください。

- * 塗布量の目安は、約2.0kg/m²です。

タイル張付け

タイルをもみ込むように圧着し、さらにたたき板を用いてたたき押しをおこなってください。

- * NS弾ボンドの可使用時間内におこなってください。目安は塗布後、夏季30分以内、冬季90分以内です。なお、気象条件により可使用時間の変動がありますので、注意してください。
- * 直射日光が当たる場合は可使用時間が短くなるので十分に注意して施工してください。
- * タイル張り付け後、2~3m²に一度タイルを剥し、NS弾ボンドの付着量が70%以上であることを確認してください。

目地直し

NS弾ボンドの可使用時間内に目地直しをおこなってください。

- * NS弾ボンドの可使用時間を過ぎてからの無理な目地直しは接着不良の原因となります。

タイル清掃

NS弾ボンドが硬化する前に、有機溶剤(シンナー)を用いてタイル表面に付着したNS弾ボンドを取り除いてください。なお、硬化した後は、カッター等を用いて削り取ってください。

- * 有機溶剤での拭き取り清掃はタイル表面のみにしてください。接着層に溶剤が浸透すると、接着不良の原因となりますので注意してください。拭き取りできない汚れについては、硬化した後、カッター等で除去してください。

養生

NS弾ボンドの硬化前に雨・雪掛かりが予想される場合には、養生シート、覆い等で養生をおこなってください。

- * 硬化時間の目安は厚さ2~3mm(約2.0kg/m²塗布)の場合、20℃で塗り付け後、約12時間です。なお、塗厚が厚くなると硬化するまでの時間が長くなりますので注意してください。
- * 冬季(低温時)は硬化が遅くなりますので、硬化状態を確認した上で目地詰めをおこなってください。特に終日5℃を下回る環境では、硬化まで2日程度かかる場合がありますので、必要に応じて目地詰めの前に、保温、採暖等の養生をおこなってください。

- 5~40℃の環境温度でご使用ください。
- 降雨、降雪時の施工は避けてください。
- タイルに付着した場合は、硬化する前にウエス等で拭き取ってください。
- 湿気で硬化しますので、開封後は早めに使い切ってください。
- タイル用途以外には使用しないでください。
- 下地の防水は、接着剤施工とは別におこなってください。
- 製品は製造年月日を確認し、12ヶ月以内を目安に使用してください。



使用上の注意

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

 **日本化成株式会社**



本社営業本部/☎(03) 3207-8156 関東支社/☎(03) 3207-8166
中部支社/☎(052) 324-5558 関西支社/☎(06) 6315-1331
九州支社/☎(092) 482-0188

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。



この印刷物は環境にやさしい大豆インキ及び一部フラーエネルギーを使用しています。

5-0808.U3000